

## 名古屋大学附属図書館の基本理念及び基本目標

(平成 26 年 3 月 13 日 附属図書館商議員会決定)

### ◆基本理念

名古屋大学学術憲章に謳われた「人間性と科学の調和的発展を目指し、人文科学，社会科学，自然科学をともに視野に入れた高度な研究と教育を実践する」という名古屋大学の学術活動の基本理念を実現するべく，学問を追究，継承する全ての人々に対し，研究・教育学修環境を提供し，学術情報の収集・保存・発信を担う。

### ◆基本目標

中央図書館，医学部分館，部局図書室のそれぞれの特性を生かし，学内外の組織とも連携し，学生，教職員及び社会のニーズに応える先進的な利用者サービスの実施により，以下の目標の実現を目指す。

- (1) 研究・教育学修に必要とされる学術情報の提供を行うため，電子ジャーナル，データベース，電子書籍等の電子資料を含む学術情報の効率的収集を行い，充実を図る。
- (2) 貴重資料や特色ある資料をはじめとする知的資産の収集を行い，東海・北陸地区の基幹大学としての役割を果たすべく，保存管理体制を構築する。
- (3) 学生の創造的能力の向上を目指すため，学修環境を強化し，充実した教育学修支援を行う。
- (4) 研究・教育学修支援を行うため，その専門知識を有する図書系職員を育成し，適正に配置する。
- (5) 国際的な研究・教育学修支援のため，多言語の情報提供を行う。
- (6) 学術情報流通の拠点として，名古屋大学の知的研究成果を国内外に発信し，開かれた学術情報の提供を行う。
- (7) 地域社会との連携を積極的に進め，地域の知的資産等の保存・継承に協力する。